

キヤノンマーケティングジャパングループ 2021年度第2四半期 決算説明

2021年7月27日

キヤノンマーケティングジャパン株式会社
取締役上席執行役員 蛭川 初巳

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

-
- 本資料では、億円単位未満の端数は四捨五入により表示しております。
 - 本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知ください。

売上高 1,348億円 (前年比+137億円／+11%)

✓ プロフェッショナルは減収となったものの、コンスーマ、エンタープライズ、エリアが増収となり、増収

営業利益 100億円 (前年比 +46億円／+86%)

✓ 全てのセグメントで高付加価値な製品・サービスの構成比を高めたことによる荒利増加により、増益

**親会社株式に帰属する
四半期純利益 71億円 (前年比 +12億円／+21%)**

2

2ページ目は、2Q決算のポイントになります。

売上は、プロフェッショナルセグメントが、ヘルスケアで昨年の大型案件の剥落があったことにより減収となりましたが、コンスーマセグメント、エンタープライズセグメント、エリアセグメントで、前年同期に新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた反動等により増収となり、11%増の1,348億円となりました。

営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加や、全てのセグメントで高付加価値な製品・サービスの構成比を高めたことで荒利率が好転したことにより、46億円増益の100億円となりました。

親会社株式に帰属する四半期純利益は、12億円増益の71億円となりました。

セグメントごとの詳細につきましては、この後ご説明いたします。

業績サマリー 第2四半期(4月～6月)

Canon

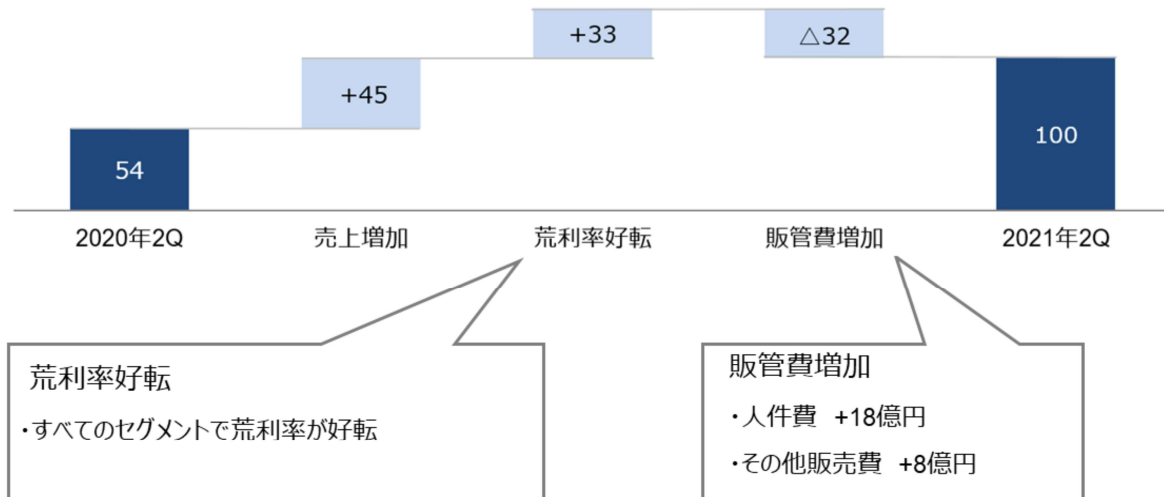
(単位：億円)

	2020年 2Q	2021年 2Q	前年同期比較	
			金額	率
売上高	1,211	1,348	+137	+11%
	(33.0%)	(35.5%)	(+2.4%)	
売上総利益	400	478	+78	+20%
	(4.4%)	(7.4%)	(+3.0%)	
営業利益	54	100	+46	+86%
	(7.3%)	(7.9%)	(+0.6%)	
経常利益	89	106	+18	+20%
	(4.8%)	(5.2%)	(+0.4%)	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	59	71	+12	+21%

3

3ページ目は、2Qの業績サマリーです。

(単位：億円)



続いて4ページ目は、2Qの営業利益分析です。

売上の増加に伴い、荒利が45億円増加しました。

また、主にコンシューマセグメントにおいて、レンズ交換式デジタルカメラや交換レンズ、インクジェットプリンターが高付加価値製品を中心に売上を伸ばしたこと等により、荒利率が好転いたしました。

販管費につきましては、人件費が業績連動型の賞与の増加や、前年同期に輪番休業を行い大幅に減少していた反動による増加等により、32億円増加しております。

なお、販管費の詳細は21ページの「販管費の内訳」をご参照ください。

セグメント概要 第2四半期(4月～6月)



(単位：億円)

	2020年 2Q		2021年 2Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
コンスーマ	256	20	306	37	+50	+17
エンタープライズ	423	18	446	27	+24	+9
エリア	492	11	568	34	+76	+22
プロフェッショナル	84	7	80	9	△4	+1
その他	△44	△3	△52	△6	△8	△3
合 計	1,211	54	1,348	100	+137	+46

※「その他」には、セグメント間内部売上高とシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。

※2021年より、これまで「エリア」セグメントにおいて中堅・準大手顧客向けに直販を行っていた組織の一部を、「エンタープライズ」セグメントへ移管しております。これに伴い、各セグメント間で2020年実績の組替を行っております。

5

5ページ目は、2Qのセグメント別の実績概要です。

業績サマリー 第2四半期累計(1月～6月)



(単位：億円)

	2020年 1Q-2Q	2021年 1Q-2Q	前年同期比較	
			金額	率
売上高	2,626	2,751	+126	+5%
	(33.1%)	(34.6%)	(+1.5%)	
売上総利益	868	951	+82	+9%
	(5.0%)	(7.5%)	(+2.5%)	
営業利益	131	206	+74	+57%
	(6.3%)	(7.8%)	(+1.5%)	
経常利益	167	215	+49	+29%
	(3.8%)	(5.5%)	(+1.7%)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	100	151	+51	+51%

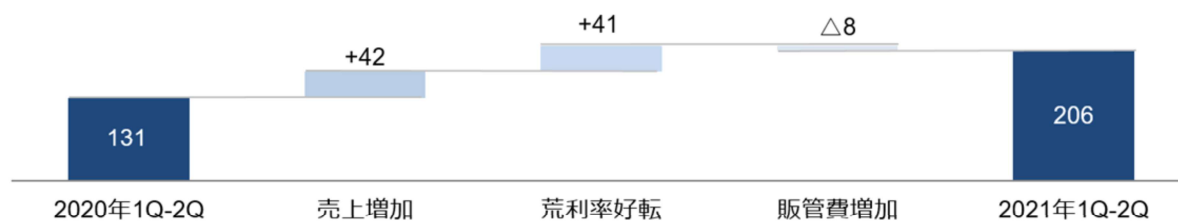
6

6ページ目からは、累計の実績です。

営業利益分析 第2四半期累計(1月～6月)

Canon

(単位：億円)



荒利率好転

- ・すべてのセグメントで荒利率が好転

販管費増加

- ・人件費 +6億円
- ・その他販売費 +5億円

7ページ目と8ページ目は、参考情報です。

セグメント概要 第2四半期累計(1月～6月)



(単位：億円)

	2020年 1Q-2Q		2021年 1Q-2Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
コンシューマ	502	20	612	67	+110	+47
エンタープライズ	929	54	919	62	△10	+8
エリア	1,112	47	1,162	73	+50	+26
プロフェッショナル	171	14	161	15	△9	+2
その他	△89	△4	△103	△12	△15	△8
合 計	2,626	131	2,751	206	+126	+74

※「その他」には、セグメント間内部売上高とシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。

※2021年より、これまで「エリア」セグメントにおいて中堅・準大手顧客向けに直販を行っていた組織の一部を、「エンタープライズ」セグメントへ移管しております。これに伴い、各セグメント間で2020年実績の組替を行っております。

- ✓ 売上高は、デジタルカメラやインクジェットプリンターが高付加価値製品を中心に売上を伸ばしたことや、ITプロダクトの増加等により、増収
- ✓ 営業利益は、高付加価値製品の売上構成比が高まったことによる荒利の増加により、増益

	2Q実績			(単位：億円)
	2020年	2021年	対前年	
売上高	256	306	+20%	
営業利益	20	37	+83%	
利益率	7.8%	12.0%	+4.2%	

■ コンスーマ製品（対前年伸び率）

		1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	年間
レンズ交換式デジタルカメラ	(台数)	△20%	+84%			
コンパクトデジタルカメラ	(台数)	△2%	+39%			
インクジェットプリンター	(台数)	+34%	△23%			
インクジェットプリンターカートリッジ	(金額)	△0%	△10%			

9

続いて9ページ目からは、セグメント別の実績をご説明します。

2Qのコンスーマセグメントは、デジタルカメラや交換レンズ、インクジェットプリンターが高付加価値製品を中心に売上を伸ばしたことや、ITプロダクトの増加等により、売上は対前年20%増の306億円となりました。営業利益は、高付加価値製品の売上構成比が高まったことによる荒利の増加により、対前年17億円増益の37億円となりました。

（デジタルカメラ）

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い需要が急激に落ち込んでいた前年同期からの反動に加え、昨年発売したミラーレスカメラが好調に推移したことや、キャッシュバックキャンペーンの効果もあり、レンズ交換式デジタルカメラの台数は対前年プラス84%と前年を大きく上回りました。

（インクジェットプリンター）

特大容量タンク「GIGA TANK」を搭載した製品は在宅勤務等での印刷ニーズを捉え引き続き売上台数が増加したものの、家庭用インクジェットプリンターが前年同期に在宅勤務やオンライン学習の需要が急激に増加したことに伴い台数が大きく伸びていた反動等により減少しました。この結果、インクジェットプリンター全体の台数は対前年マイナス23%となりました。

一方で、「PIXUS TS8430」を中心に高付加価値製品の売上構成比が高まったことにより、売上金額は前年を上回りました。インクカートリッジについては、販売台数やカラープリント減少等による市場の縮小に伴い、売上は減少となりました。

（ITプロダクト）

ITプロダクトは、引き続き在宅勤務の需要に伴うPC周辺機器が増加したことや、ゲーミングPCの販売が伸び、売上が大幅に増加しました。

- ✓ 売上高は、主要ビジネス機器が前年同期に新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた反動やITソリューションビジネスが堅調に推移していることにより増収
- ✓ 営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加により、増益

	2Q実績		
	2020年	2021年	対前年
ビジネス機器他	138	153	+11%
ITソリューション	285	293	+3%
売上高計	423	446	+6%
営業利益	18	27	+52%
利益率	4.2%	6.0%	+1.8%

(単位：億円)

■ (ご参考) 主要関係会社実績

キヤノンITソリューションズ

	2Q実績		増減	
	2020年	2021年	金額	率
売上高	226	234	+8	+4%
営業利益	19	21	+2	+11%

キヤノンITソリューションズ受注高・受注残高 (対前年伸び率)

	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	年間
受注高	(金額)	+1%	+10%	-	-
受注残高	(金額)	+14%	+19%	-	-

10

10ページ目は、エンタープライズセグメントのご説明です。

以前から担当していた大手企業に加えて、2021年1月にエリアセグメントから準大手・中堅向けのビジネスを移管し、大手、準大手・中堅企業向けの営業活動を行っております。

2Qの売上は、前年同期に新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた反動等によりビジネス機器、ITソリューション共に売上が増加し対前年6%増の446億円となりました。営業利益は、対前年9億円増益の27億円となりました。

(ビジネス機器他)

主要ビジネス機器の状況につきましては、引き続き大手企業のオフィス機器への設備投資が抑制傾向にあります。前年同期の減少が大きかった反動によりオフィスMFPは増加しました。一方で、レーザープリンターは大型案件の後ろ倒し等の影響があり、減少しました。オフィスMFPの保守サービス、レーザープリンターカートリッジについては、前年同期と比較し、オフィスへの入社率の増加に伴うプリントボリュームの改善等により、売上は増加しました。

(ITソリューション)

ITソリューションにつきましては、金融業向けのSI案件や文教向けのオンライン化のニーズに対応する案件が引き続き順調に推移しています。またデータセンター2号棟の売上が堅調に推移したことや、金融業向けのBPOで大型案件があったこと等により、売上は対前年3%の増収となりました。

(キヤノンITソリューションズ実績/受注高・受注残高)

主要関係会社のキヤノンITソリューションズの売上は対前年4%増の234億円、営業利益は対前年2億円増の21億円となりました。

受注高は、金融業向けのシステム開発案件やデータセンター関連の案件が引き続き堅調に推移していることに加え、製造・流通業向けの案件が増加してきていること等により、対前年10%の増加となっております。

また、受注残高は金融業向けの受注が拡大していることや、昨年のデータセンター1号棟の更新案件等により、対前年19%の増加となっております。

- ✓ 売上高は、主要ビジネス機器が前年同期に新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた反動やセキュリティ、IT保守等の案件が順調に推移していることにより増収
- ✓ 営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加により、増益

	2Q実績		
	2020年	2021年	対前年
ビジネス機器他	352	415	+18%
ITソリューション	141	154	+9%
売上高計	492	568	+15%
営業利益	11	34	+197%
利益率	2.3%	5.9%	+3.6%

(単位：億円)

■ (ご参考) 主要関係会社実績

キヤノンシステムアンドサポート

	2Q実績		増減	
	2020年	2021年	金額	率
売上高	214	247	+33	+15%
営業利益	-1	8	+9	-

11

11ページ目は、エリアセグメントのご説明です。

2Qの売上は、エンタープライズセグメントと同様に、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた前年同期の反動等により、売上は対前年15%増の568億円となりました。営業利益は、対前年22億円増益の34億円となりました。

(ビジネス機器他)

主要ビジネス機器の状況につきましては、オフィスMFPやレーザープリンターは、緊急事態宣言下で営業活動が抑制されていた前年同期と比較し、営業活動の再開や非対面営業が推進されたこと等により、案件数が増加し、売上は増加しました。オフィスMFPの保守サービス、レーザープリンターカートリッジにつきましては、前年同期と比較し、オフィスへの出社率の増加に伴うプリントボリュームの改善等により、売上は増加しました。

(ITソリューション)

ITソリューションにつきましては、テレワーク環境の構築需要が継続しており、IT支援クラウドサービス「HOME」やウイルス対策ソフト「ESET」等のセキュリティが順調に推移しました。また、お客さまのIT機器等の保守や運用サービスの獲得に注力し、受注件数を伸ばしたことや、ネットワークカメラの案件が順調に推移したこと等により、ITソリューション全体の売上は、対前年9%の増収となりました。

(キヤノンシステムアンドサポート実績)

主要関係会社のキヤノンシステムアンドサポートの売上は、対前年15%増の247億円、営業利益は、対前年9億円増の8億円となりました。

* エリアここまで

<ネットワークカメラ>

なお、「補足資料」に記載されております、グループ全体のネットワークカメラの2Q実績につきましては、引き続き中小企業を中心に遠隔監視や遠隔操作等の人との接触を避けた遠隔での映像の利活用のニーズが高いことや、製造業向けの大型案件があった影響等により、売上は対前年プラス10%となりました。

- ✓ 売上高は、産業機器が好調に推移したものの、医療ITやプロダクションプリンティングが減少し、減収
- ✓ 営業利益は、産業機器の保守サービスが伸びたこと等による荒利の増加により、増益

	2Q実績		
	2020年	2021年	対前年
プロダクションプリンティング	23	22	△4%
産業機器	34	43	+27%
ヘルスケア	27	14	△47%
売上高計	84	80	△5%
営業利益	7	9	+18%
利益率	8.6%	10.7%	+2.1%

(単位：億円)

■ (ご参考) 主要関係会社実績

キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ

	2Q実績		増減	
	2020年	2021年	金額	率
売上高	22	21	△1	△5%
営業利益	1	1	+0	+83%

12

12ページ目は、プロフェッショナルセグメントのご説明です。

2Qのプロフェッショナルセグメントは、産業機器が好調に推移したものの、医療ITやプロダクションプリンティングが減少し、売上は対前年5%減の80億円となりました。営業利益については、産業機器の保守サービスが伸びたこと等による荒利の増加により、対前年1億円増益の9億円となりました。

(プロダクションプリンティング)

POP関連のソフトウェアが伸びたものの、プリントボリューム低下等に伴う消耗品販売の減少等により、売上は対前年マイナス4%となりました。

関係会社であるキヤノンプロダクションプリンティングシステムズの売上は対前年5%減の21億円となりました。営業利益は、販管費の削減により、対前年4千万円増の1億円となりました。

なお、お手元の補足資料の「ビジネス機器」の下から2行目に、プロダクションプリンティングに他セグメントの売上となっているプロダクションプリンタービジネスを加えた「グループ商業印刷」として、売上対前年増減比を記載しております。「グループ商業印刷」の2Qは、オフィス向けプロダクションプリンターの販売が好調だったこと等により、プラス9%となりました。

(産業機器)

国内において半導体メーカーの投資が活発となっていることを背景に、素材メーカー向けに大型の検査計測装置が納入されたことや、通信分野向けに半導体製造関連装置や保守サービス等が伸び、売上は対前年でプラス27%となりました。

(ヘルスケア)

前年同期にあった病院向けの電子カルテおよび医療IT基盤の構築等にかかる複数の大型案件の剥落等により、売上は対前年マイナス47%となりました。

(単位：億円)

■ セグメント別

	2020年 2Q	2021年 2Q	2020年 1Q-2Q	2021年 1Q-2Q	増減 2Q		増減 1Q-2Q	
					金額	率	金額	率
エンタープライズ	285	293	603	604	+8	+3%	+2	+0%
エリア	141	154	323	326	+13	+9%	+3	+1%
その他	72	68	141	157	△4	△6%	+16	+11%
合計	498	514	1,067	1,088	+17	+3%	+20	+2%

■ 商品・ソリューション別

	2020年 2Q	2021年 2Q	2020年 1Q-2Q	2021年 1Q-2Q	増減 2Q		増減 1Q-2Q	
					金額	率	金額	率
SIサービス	177	174	368	362	△3	△2%	△6	△2%
保守・運用サービス/アウトソーシング	89	102	187	201	+13	+14%	+14	+8%
システム販売・ITプロダクト	232	239	513	524	+7	+3%	+11	+2%
合計	498	514	1,067	1,088	+17	+3%	+20	+2%

※2021年より、ネットワークカメラ等の事業をITソリューション売上に加算している影響により、2020年実績についても組替を行っております。

13

13ページ目は、グループトータルのITソリューション売上です。

2021年よりネットワークカメラ関連の売上をITソリューションとしてカウントしており、2020年実績については、その影響等の組替を行っております。

2Qの実績についてご説明します。

セグメント別の、エンタープライズ、エリアの状況に関しては、セグメント情報でお伝えしている通りです。その他についてはコンシューマセグメントにおいてITプロダクトは引き続き好調に推移しましたが、ヘルスケアで前年同期にあった病院向けの電子カルテおよび医療IT基盤の構築等にかかる複数の大型案件の剥落等により減収となりました。

続いて、商品・ソリューション別の状況についてご説明します。

「SIサービス」は、キヤノンITソリューションズ単体では金融業向けの案件が堅調に推移し増収となりましたが、その他のグループ会社で前年同期にあった大型案件の剥落等により、減収となりました。

「保守・運用サービス/アウトソーシング」は、昨年10月に竣工したデータセンター2号棟が売上寄与していることや、金融業向けのBPOで大型案件があったこと、引き続きテレワーク需要の拡大に伴い中小企業向けのIT支援クラウドサービス「HOME」や、注力しているIT保守が堅調に推移したこと等により、増収となりました。

「システム販売・ITプロダクト」は、在宅勤務の需要が継続しており、PCの周辺機器やセキュリティ製品の需要が増加したことや、ゲーミングPCが好調に推移した結果、増収となりました。

業績予想サマリー

Canon

(単位：億円)

	2021年 年間 (前回予想)	2021年 年間 (今回予想)	増減		2020年 年間 (実績)	前年比較	
			金額	率		金額	率
売上高	5,670	5,670	-	-	5,451	+219	+4%
営業利益	(6.0%) 340	(6.2%) 350	(+0.2%) +10	+3%	(5.7%) 313	(+0.4%) +37	+12%
経常利益	(6.1%) 348	(6.3%) 358	(+0.2%) +10	+3%	(6.5%) 352	(△0.2%) +6	+2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	(4.1%) 235	(4.3%) 242	(+0.1%) +7	+3%	(4.0%) 220	(+0.2%) +22	+10%

14

14ページ目は、業績予想サマリーです。

2Qまでの進捗を踏まえ、営業利益10億円、経常利益10億円、当期純利益7億円の上方修正をしております。

(単位：億円)

	2021年 年間 (前回予想)		2021年 年間 (今回予想)		前回予想比較		
	売上	営業 利益	売上	営業 利益	売上 金額	率	営業 利益
コンシューマ	1,281	100	1,281	110	-	-	+10
エンタープライズ	1,927	119	1,927	119	-	-	-
エリア	2,285	117	2,285	117	-	-	-
プロフェッショナル	347	24	347	24	-	-	-
その他	△170	△20	△170	△20	-	-	-
合計	5,670	340	5,670	350	-	-	+10

※「その他」には、セグメント間内部売上高やシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。

15

15ページ目は、今回見直したセグメント別の業績予想を、前回公表値と比較したものです。

今回、2Qまでの進捗状況を踏まえ、コンシューマの営業利益を前回計画から10億円上方修正し、110億円を見込んでおります。

また、この修正に伴い、別紙「【補足資料】2021年2Q主要製品売上・台数」についても見直しを行っております。

他のセグメントについては、業績予想の変更はございません。

業績予想 セグメント概要 前年比較

Canon

(単位：億円)

	2020年 年間 (実績)		2021年 年間 (予想)		前年比較		
	売上	営業 利益	売上	営業 利益	売上 金額	率	営業 利益
コンシューマ	1,247	123	1,281	110	+34	+3%	△13
エンタープライズ	1,846	94	1,927	119	+81	+4%	+25
エリア	2,237	90	2,285	117	+48	+2%	+27
プロフェッショナル	307	19	347	24	+40	+13%	+5
その他	△186	△13	△170	△20	+16	-	△7
合計	5,451	313	5,670	350	+219	+4%	+37

※「その他」には、セグメント間内部売上高とシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。

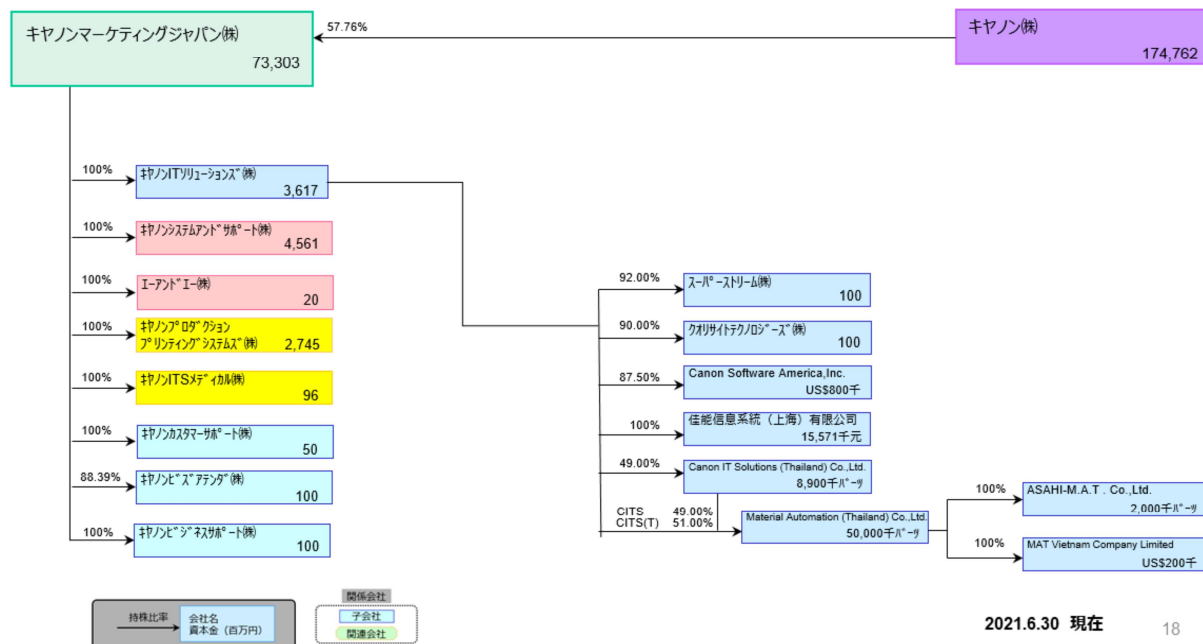
※2021年より、これまで「エリア」セグメントにおいて中堅・準大手顧客向けに直販を行っていた組織の一部を、「エンタープライズ」セグメントへ移管しております。これに伴い、各セグメント間で2020年実績の組替を行っております。

16

16ページ目は、前年実績との比較です。

参考資料

【参考】関係会社出資関係図



【参考】主要関係会社実績 第2四半期(4月～6月)

Canon

(単位：億円)

		2020年 2Q		2021年 2Q		増減	
						金額	率
エンタープライズ							
キヤノンITソリューションズ	売上高	226		234		+8	+4%
	営業利益	19	(8.4%)	21	(9.0%)	+2	(+0.6%)
エリア							
キヤノンシステムアンドサポート	売上高	214		247		+33	+15%
	営業利益	△1	(-)	8	(3.1%)	+9	(-)
プロフェッショナル							
キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ	売上高	22		21		△1	△5%
	営業利益	1	(2.3%)	1	(4.5%)	+0	(+2.2%)

【参考】主要関係会社実績 第2四半期累計(1月～6月)

Canon

(単位：億円)

		2020年 1Q-2Q		2021年 1Q-2Q		増減	
						金額	率
エンタープライズ							
キヤノンITソリューションズ	売上高	462		479		+17	+4%
	営業利益	42	(9.1%)	45	(9.5%)	+3	(+0.3%)
エリア							
キヤノンシステムアンドサポート	売上高	489		509		+20	+4%
	営業利益	7	(1.3%)	18	(3.5%)	+11	(+2.2%)
プロフェッショナル							
キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ	売上高	48		42		△6	△13%
	営業利益	1	(2.8%)	1	(3.5%)	+0	(+0.7%)

【参考】販管費の内訳 第2四半期(4月～6月)

(単位：億円)

	2020年 2Q	2021年 2Q	増減
広告宣伝費	8	10	+2
販売促進費	6	7	+1
保証費	7	7	△0
その他直接費	41	44	+3
人件費	223	241	+18
減価償却費	2	3	+0
その他販売費	58	66	+8
合計	346	378	+32

【参考】販管費の内訳 第2四半期累計(1月～6月)

(単位：億円)

	2020年 1Q-2Q	2021年 1Q-2Q	増減
広告宣伝費	20	18	△2
販売促進費	16	14	△3
保証費	16	15	△1
その他直接費	86	87	+2
人件費	471	477	+6
減価償却費	5	5	+0
その他販売費	124	129	+5
合計	737	745	+8

【参考】営業外収支の内訳

(単位：億円)

	2020年		2021年		増減	
	2Q	1Q-2Q	2Q	1Q-2Q	2Q	1Q-2Q
受取利息	1	1	1	1	+0	+0
受取配当金	1	1	1	1	+0	+0
受取保険金	4	5	5	5	+0	+0
投資事業組合運用益	1	1	0	2	△0	+1
雇用調整助成金	27	27	-	-	△27	△27
その他	1	2	0	1	△1	△0
営業外収益 計	35	36	7	11	△28	△26
支払利息	0	0	0	0	+0	+0
為替差損	△0	0	0	0	+0	+0
その他	0	1	0	1	+0	△0
営業外費用 計	0	1	0	1	+0	+0

【参考】特別損益の内訳

(単位：億円)

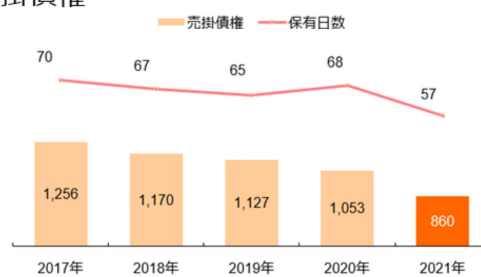
	2020年		2021年		増減	
	2Q	1Q-2Q	2Q	1Q-2Q	2Q	1Q-2Q
固定資産売却益	0	3	0	0	+0	△3
関係会社株式売却益	-	-	-	9	-	+9
投資有価証券売却益	1	1	-	0	△1	△1
その他	-	0	0	0	+0	△0
特別収益 計	1	4	0	9	△1	+5
固定資産除売却損	0	0	0	1	+0	+0
災害による損失	-	-	2	2	+2	+2
関係会社株式売却損	-	7	-	-	-	△7
新型コロナウイルス感染症による損失	2	2	-	-	△2	△2
その他	-	0	-	-	-	△0
特別損失 計	2	10	2	2	△0	△8

【参考】貸借対照表

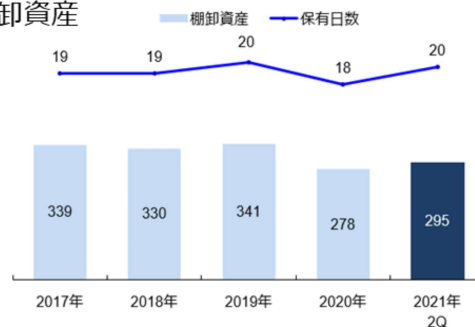
	2020年 12月	2021年 6月	増減
資産	5,066	5,076	+10
流動資産	3,803	3,785	△19
金融資産	601	755	+154
売掛債権	1,053	860	△193
棚卸資産	278	295	+17
その他	1,871	1,875	+4
固定資産	1,263	1,291	+29
有形固定資産	837	856	+19
無形固定資産	57	60	+3
投資その他	369	375	+7
負債	1,605	1,511	△94
流動負債	1,084	1,000	△85
買掛債務	441	410	△31
その他	643	590	△53
固定負債	520	511	△10
純資産	3,461	3,565	+104
株主資本	3,425	3,524	+99
(自己株式)	△21	△21	+0
その他の包括利益累計額	30	34	+5
非支配株主持分	7	7	+0
株主資本比率	68%	70%	+2%

■ 売掛債権

(単位：億円)

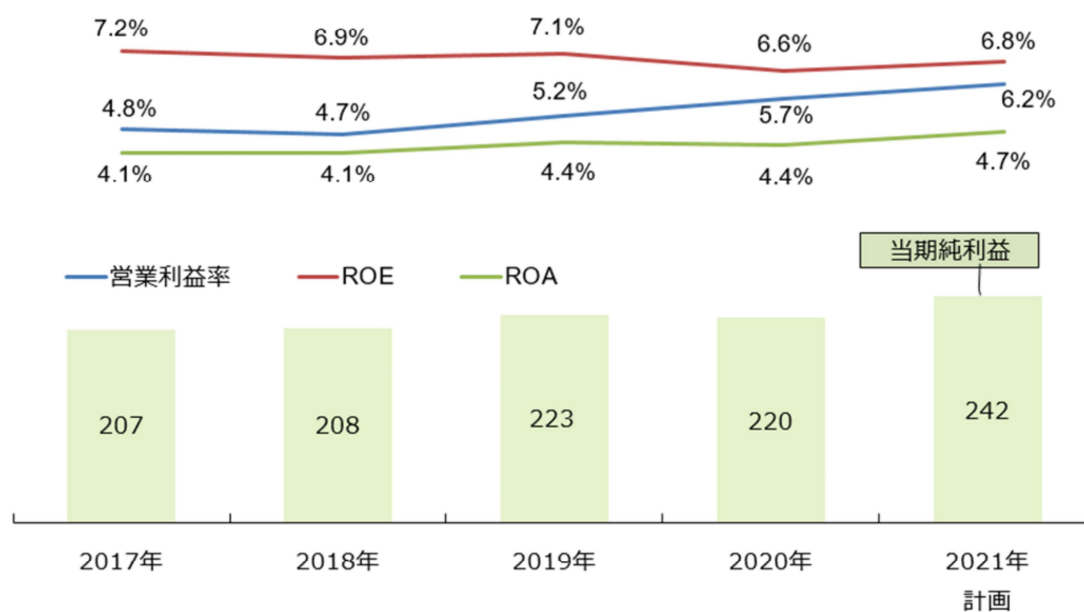


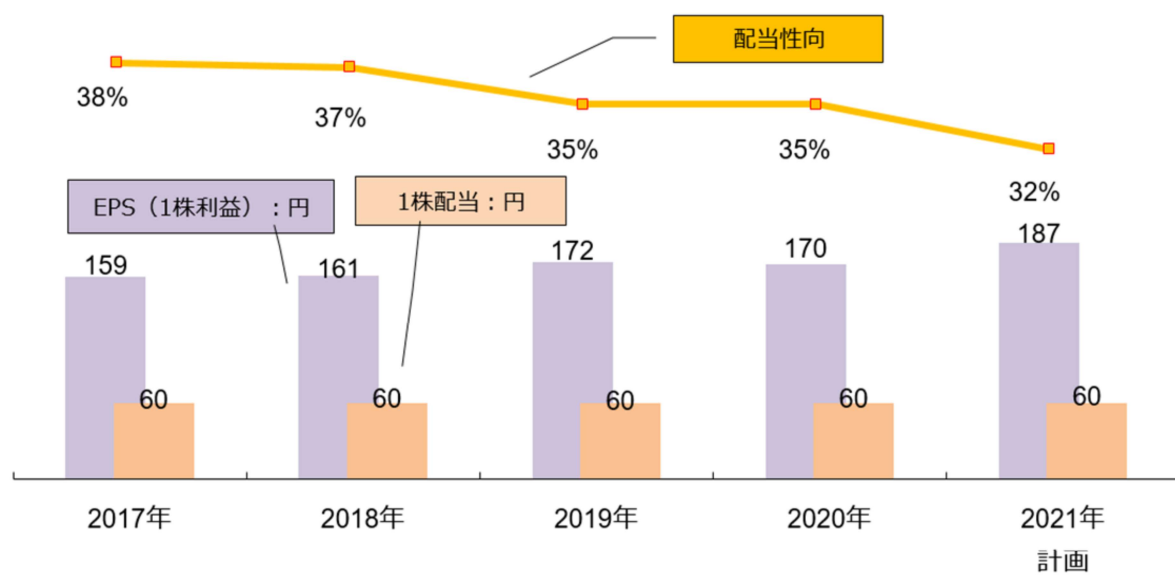
■ 棚卸資産



【参考】財務指標推移 営業利益率／ROA／ROE

(単位：億円)

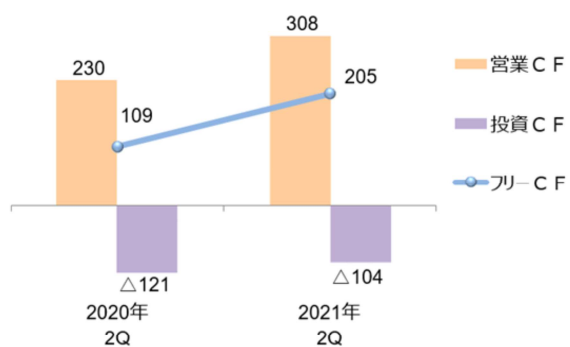




【参考】キャッシュ・フロー／設備投資・減価償却

(単位：億円)

■キャッシュ・フロー



■設備投資

	1Q-2Q 実績	3-4Q 計画	年間
2020年	51	113	164
2021年	74	74	147

■減価償却

	1Q-2Q 実績	3Q-4Q 計画	年間
2020年	58	55	113
2021年	52	58	110

Canon

キャノンマーケティングジャパングループ